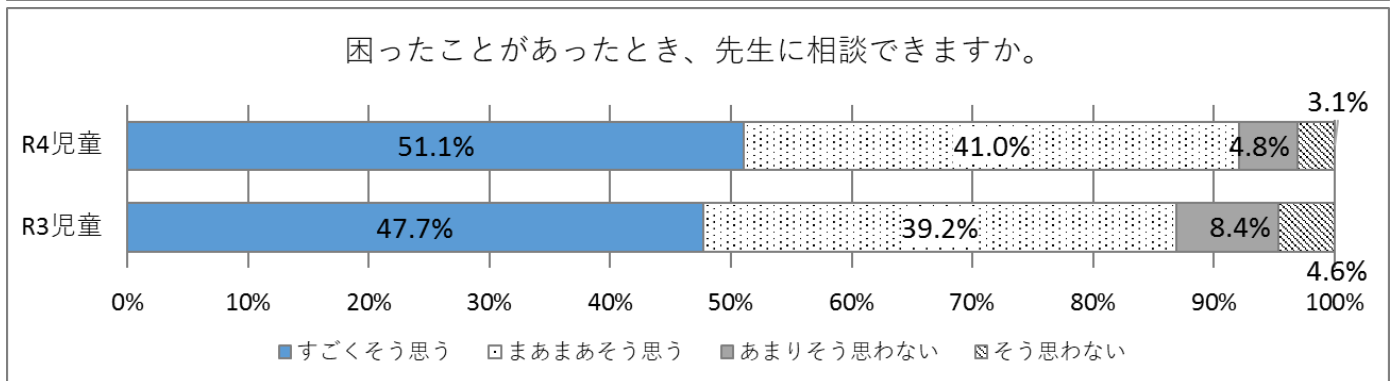
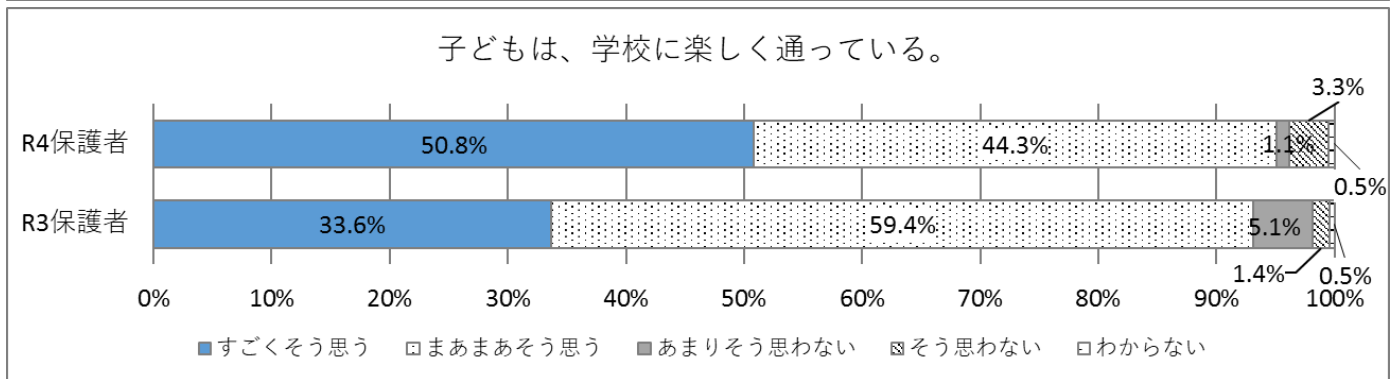
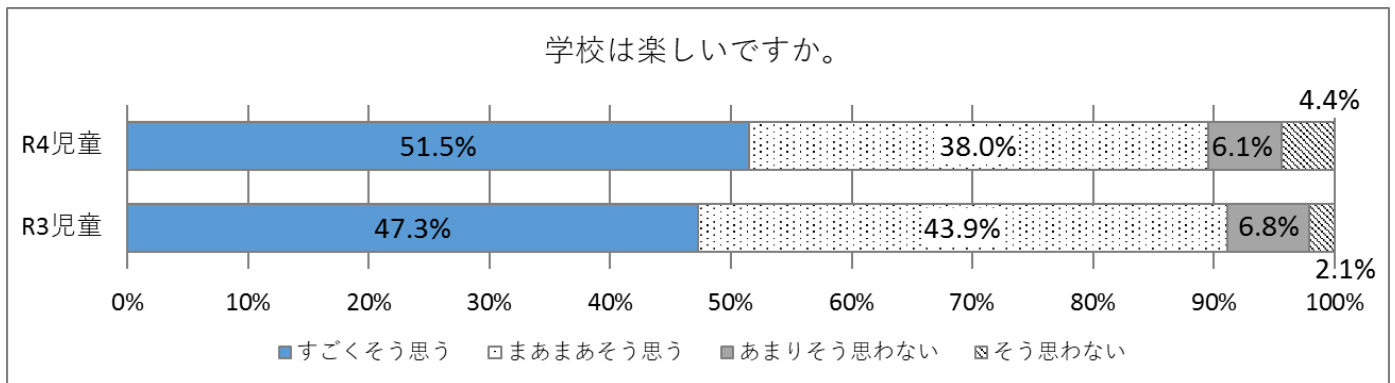


令和四年度 学校評価(保護者・児童)アンケート結果について

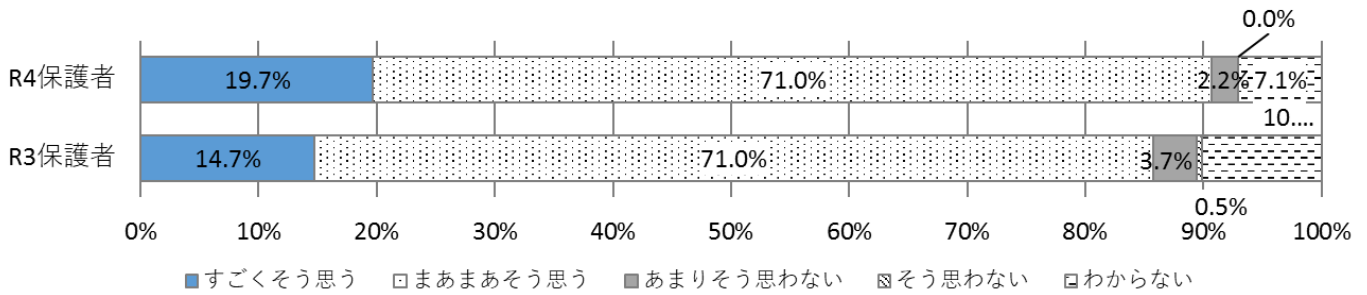
川西市立清和台南小学校
校長 坪田 城達

2学期末に清和台南小学校の教育活動について学校評価アンケートをお願いいたしました。

その結果を踏まえ、本年度の教育活動に対する自己評価を行い、その内容も含めて本校学校運営協議会で講評いただきましたので、ご報告いたします。これらの結果につきましては、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。今後も、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



学校の施設・設備は整備され、有効に活用されている。

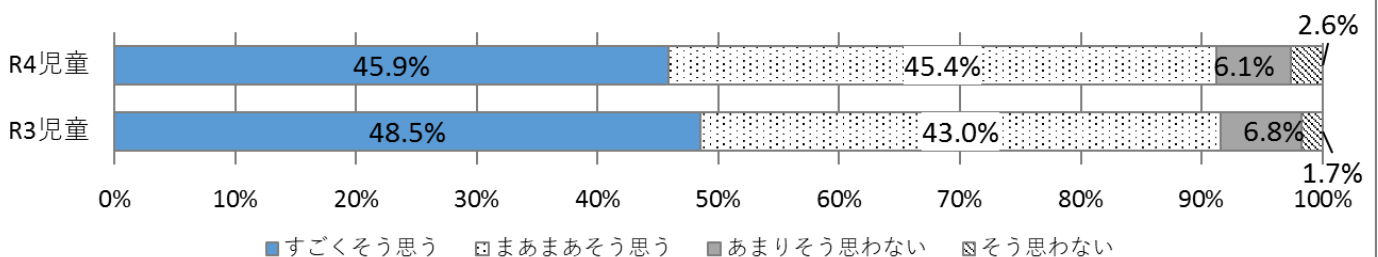


「学校は楽しいですか。」の質問に対し、「すごくそう思う」という回答の割合が増加しています。今年度も感染防止対策を講じながら、さまざまな行事やイベントを実施してきました。その中でも、児童会主体のイベントや各学年で主催してのイベントを多く行うことができました。昨年よりもイベントのバリエーションが増えたことや、自分たちで考えたことを実施できたことで、学校は楽しいと感じる児童が多くなったのだと考えられます。しかし、その反面「そう思わない」と答えている児童もやや増加しています。上記のような活動の中で、失敗の経験や、上手くいかなかった経験をする児童もいたことが理由だと考えられます。また、保護者の方への「子どもは、学校に楽しく通っている。」の質問では、肯定的な回答の割合が増加しています。行事やイベントの増加とともに、学年便りやホームページ等で学校の様子を知っていただけたことが増加の要因だと考えられます。今後も引き続き学校の様子をお伝えしていきます。

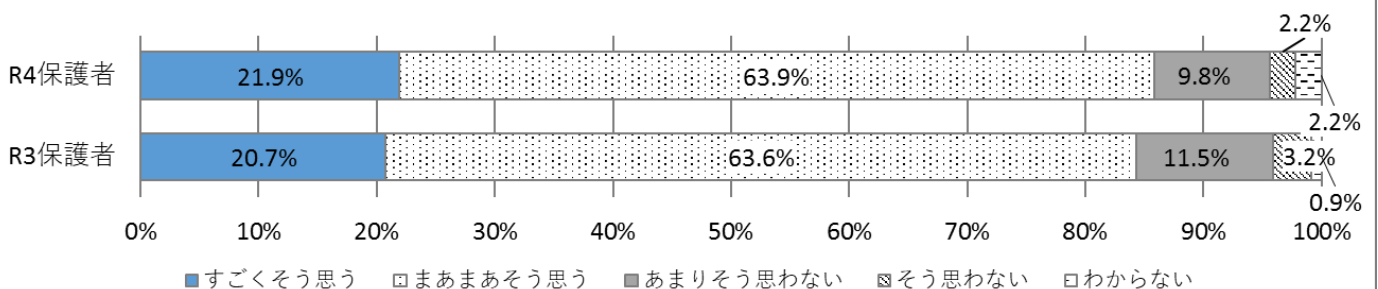
「困ったことがあったとき、先生に相談できますか。」の質問では肯定的な回答が5%程度増加しています。昨年度までに引き続き、一人ひとりの児童に多くの教員がかかわったり、アンケートを活用して話を聞く機会をもったりできたことが理由だと考えられます。しかし、「あまりそう思わない」、「そう思わない」と答えている児童も一定の割合でいることから、今後も、児童の心の変容に早く気づけるよう努めていきます。

「学校の施設・設備は整備され、有効に活用されている。」についても、昨年度よりも増加傾向にあります。保護者の方が学校に足を運んでいただける機会が多くなったことや、学校の様子を多く発信できたことが影響していると考えられます。学校が安全で過ごしやすい環境となるよう、今後も改善に努めていきます。

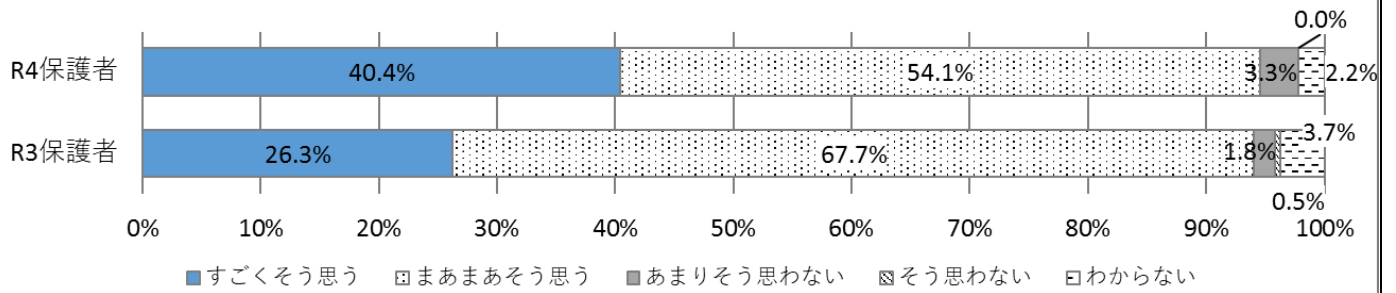
学校の勉強がよくわかりますか。



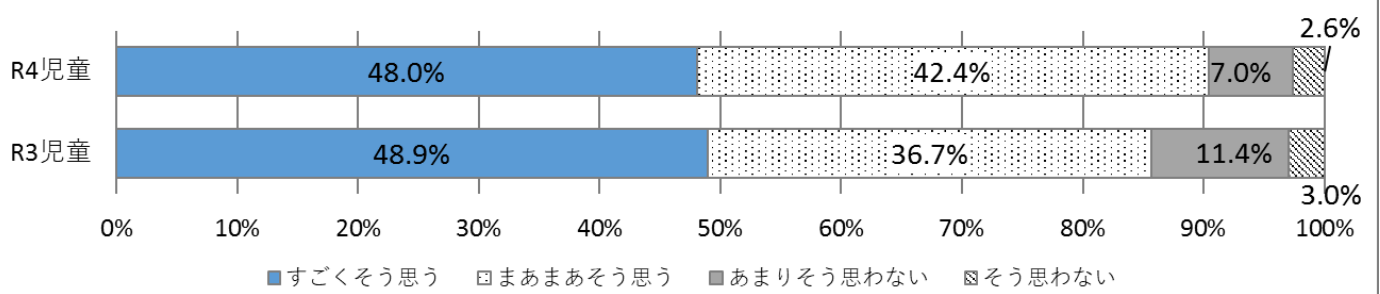
子どもは、学校の勉強がよくわかっている。



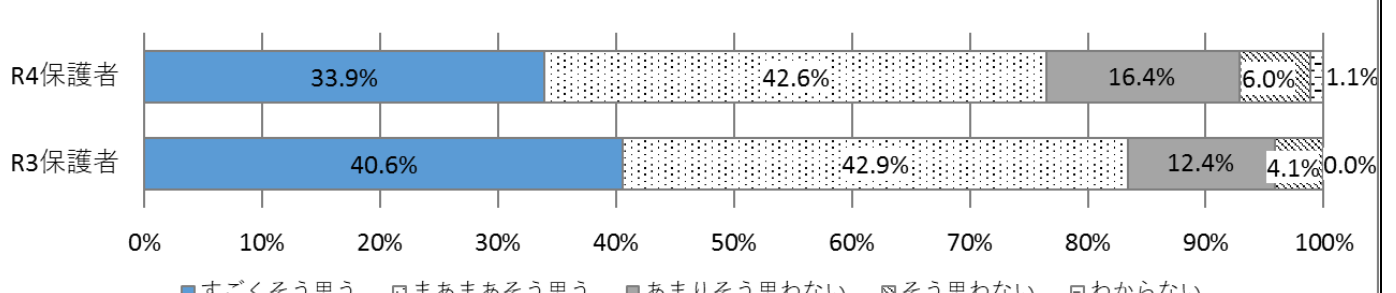
学校は、子どもたちに学力が身につくよう指導している。



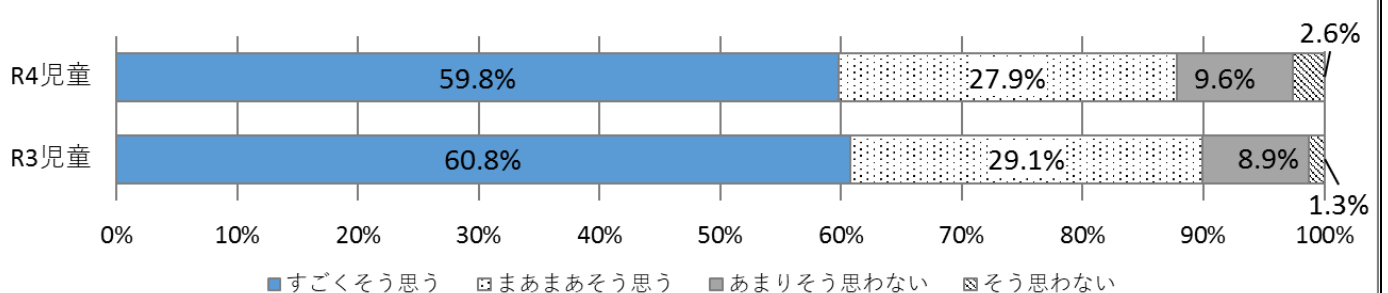
忘れ物がないように学習の準備を自分でしていますか。



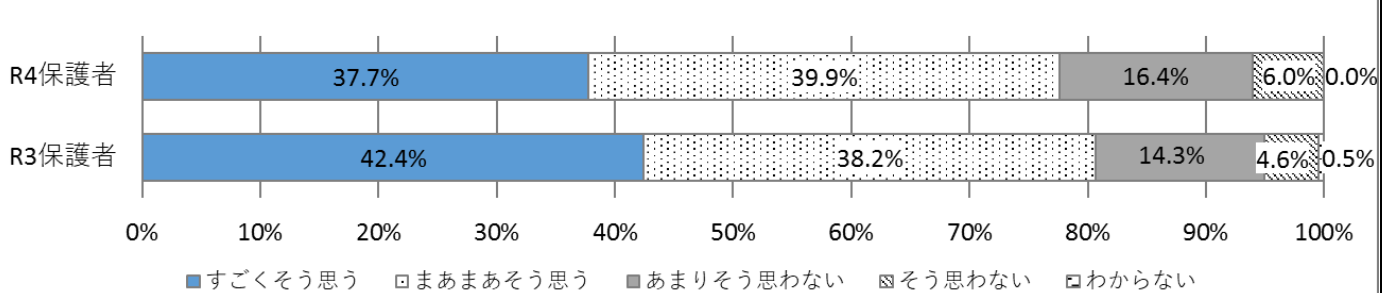
子どもは、忘れ物がないように学習の準備を自分でしている。



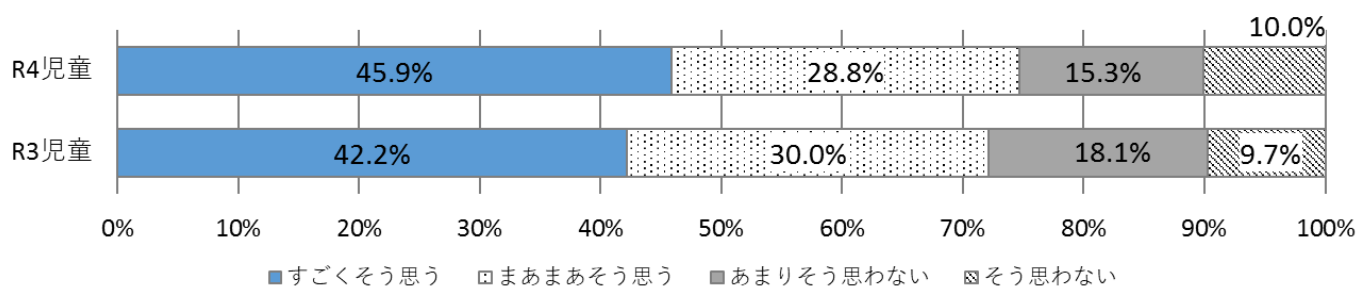
自分から進んで宿題などをしていますか。



子どもは、すすんで宿題などをしている。



本をよく読みますか。



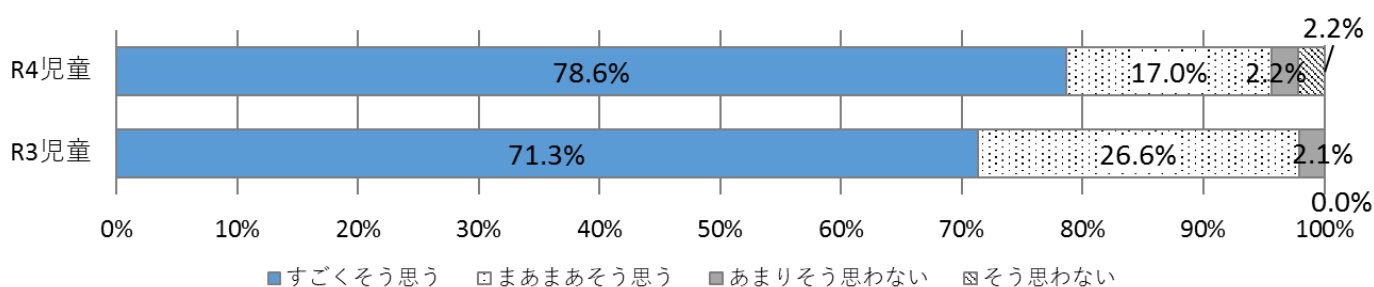
「学校の勉強がよくわかりますか。」「子どもは、学校の勉強がよくわかっている。」という2つの質問について、わずかな増減はあるものの、昨年度とほぼ同様の結果となっています。一方で、「学校は、子どもたちに学力が身につくよう指導している。」という質問に対しては、「すごくそう思う」という回答の割合が大きく増加しています。学校では引き続き、一人ひとりの児童に寄り添った授業づくりに努めていくとともに、より一層学校と家庭との連携を図り、学習の定着に繋げていきます。

「忘れ物がないように学習の準備を自分でしている」という質問では、児童は肯定的な回答の割合が増加していますが、保護者は否定的な回答の割合が増加しています。今後も引き続きご家庭でコミュニケーションを取りながら、児童が学習準備の習慣を身に着けることができるようご協力をお願いします。

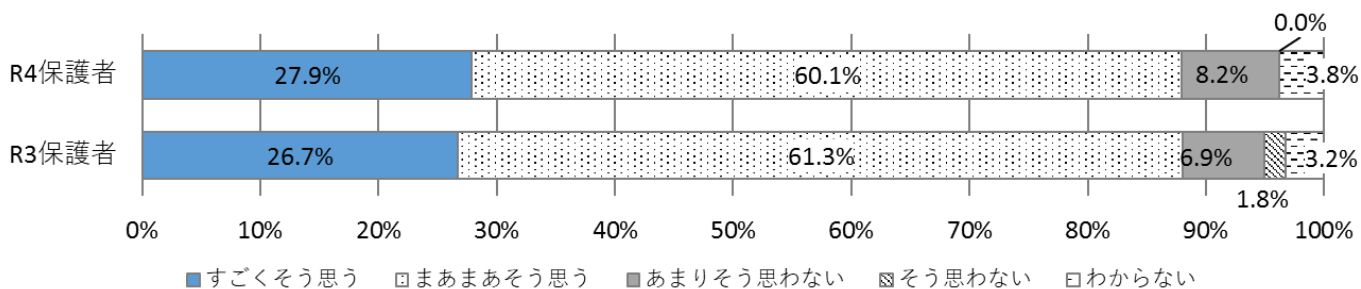
「自分から進んで宿題をしている」という質問では、児童保護者ともに肯定的な回答の割合が減少しています。学校では、児童が意欲的に取り組むことができるような課題や自主学習を充実させ、児童の興味や関心を引き出せるよう心がけていきます。

「本をよく読みますか。」という質問では、肯定的な回答の割合が増加しています。学期ごとに実施している読書週間の取り組みを継続させていくとともに、児童が活用しやすい図書室の環境整備もすすめていきます。

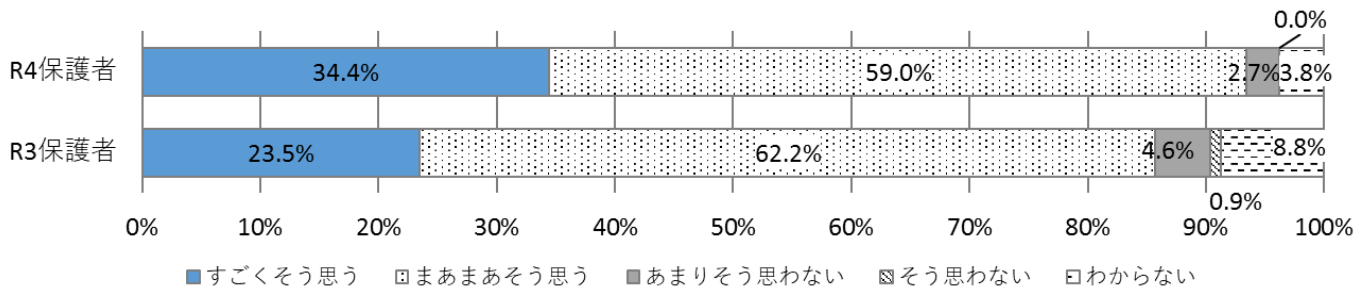
友だちを大切にしていますか。



子どもは、周りの人に思いやりや感謝の心を持って接している。



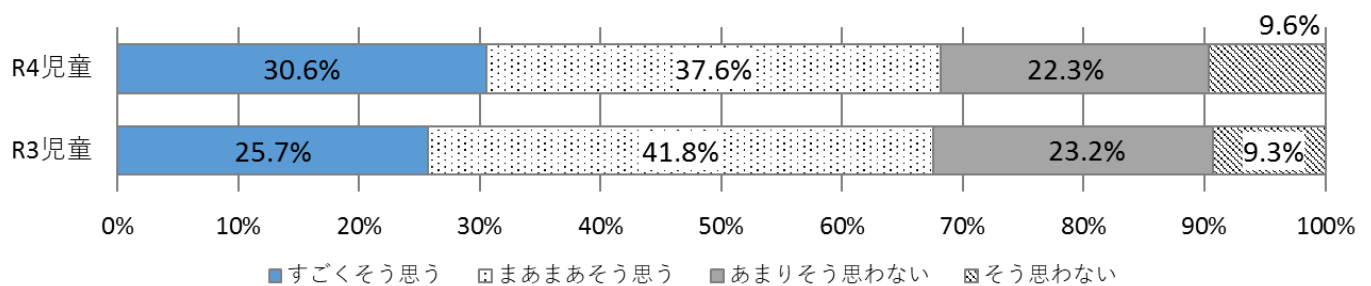
学校は、やさしさと思いやりのある子どもを育てようとしている。



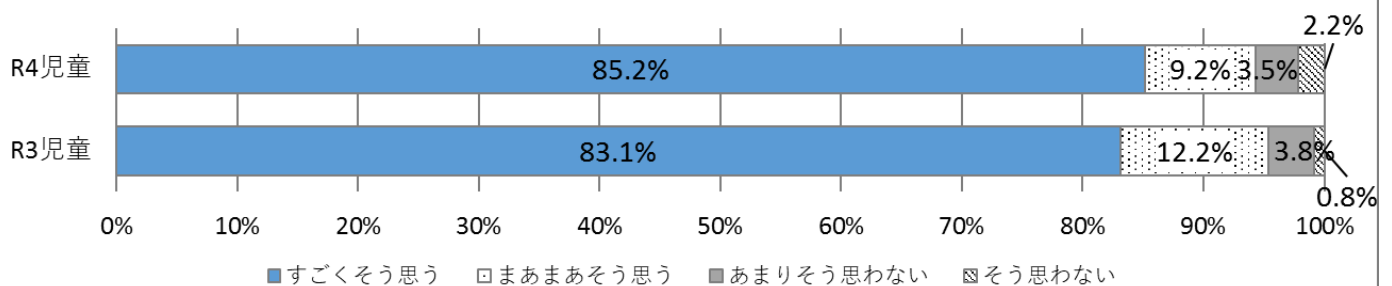
昨年度同様、教職員や児童の人権意識を高める活動として学期に一度「人権啓発週間(ハートハッピー週間)」を設定しました。また、今年度は月に1回、教職員対象にワンポイント人権研修を行い、人権に対する知識を深め、児童に対しての人権教育にもつながるよう取り組みました。また、学校全体で特別活動の授業の充実を目指し、児童が課題に対して自分の思いを伝えるだけでなく、人の意見を聞くことで、人の意見を尊重し思いやりといった姿勢が育まれています。その結果「友達を大切にしていますか。」については約96%の児童が「すごくそう思う」「まあまあそう思う」と回答しています。特に「すごくそう思う」の割合が昨年度に比べて、7.3%増加しており、友達を大切にする意識を持ち学校生活を送っている児童が増えているのが分かります。今後も引き続き、自己肯定感を高めるような働きかけや、思いやりを育む人権教育を行っていきます。

保護者アンケートの結果に関しては、「学校は、やさしさと思いやりのある子どもを育てようとしている。」の項目については、「すごくそう思う」「まあまあそう思う」の割合が大きく増加しています。その要因として、今年度は運動会や音楽会をはじめ、バケツリレー競走などの縦割り行事も多く催され、低学年から高学年まで一緒になって助け合いながら仲良くしている様子が保護者のみなさまにも伝わったのではないのでしょうか。今後も、児童が安心して学校生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携しながら人権意識を高めていきます。

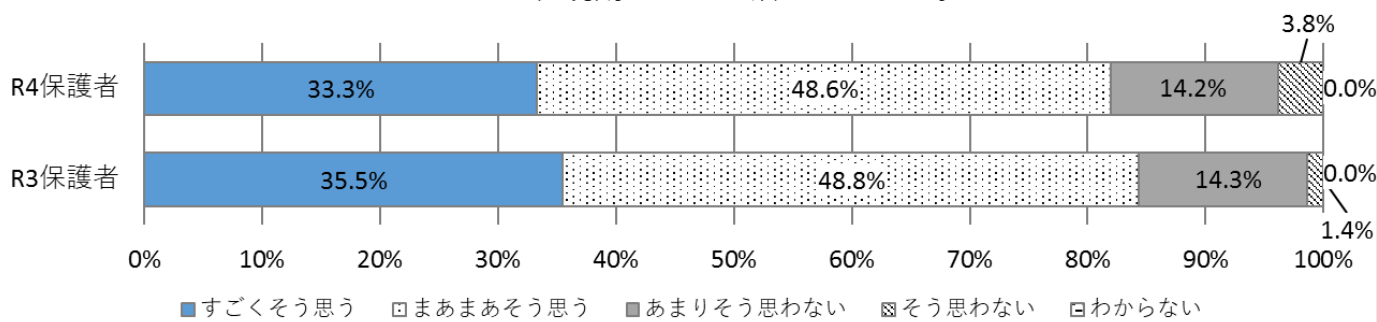
早寝、早起きをしていますか。



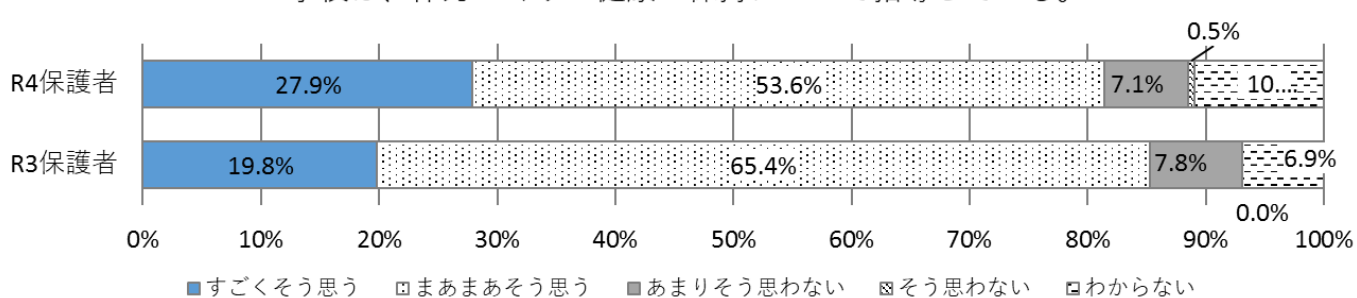
朝ごはんを食べていますか。



子どもは、規則正しい生活をしている。



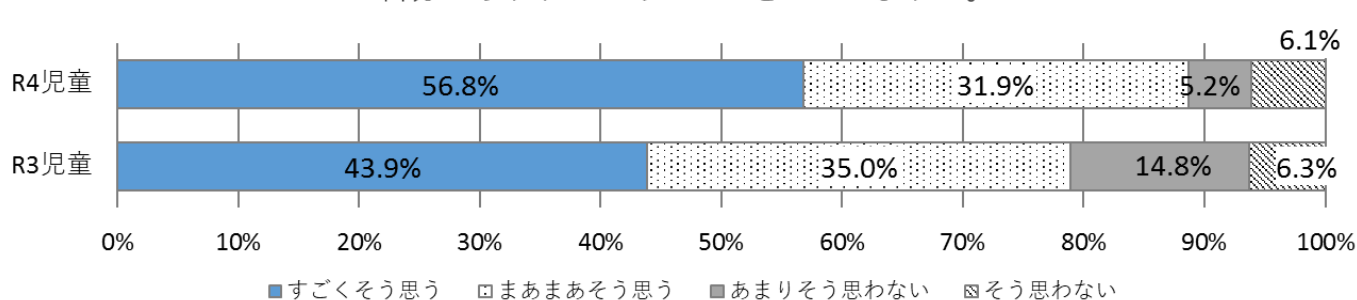
学校は、体力づくり・健康の保持について指導している。



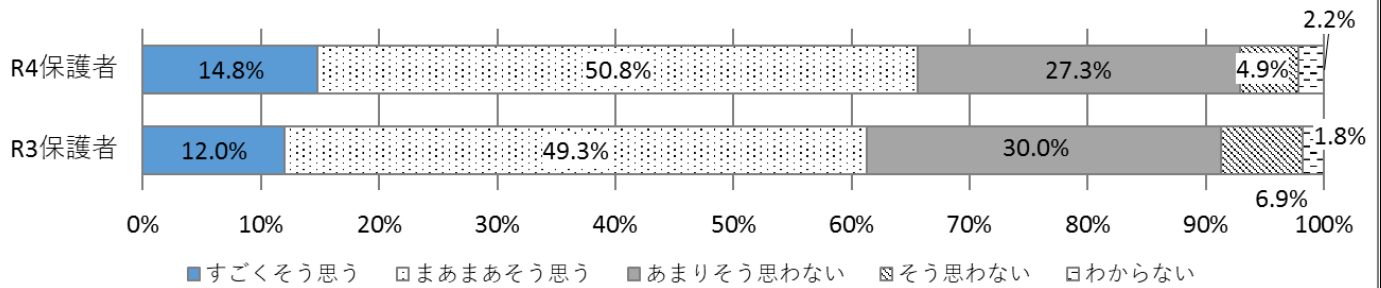
「朝ごはんを食べていますか。」の項目から、朝ごはんを食べる習慣が身についている児童が多いということが分かります。しかし、「早寝、早起きをしていますか。」「子どもは、規則正しい生活をしている。」の2つの質問から、規則正しい生活をしっかり行っていない児童がまだまだいることも現実です。規則正しい生活が日々の健康のためにととても大切だということを、家庭と連携を取りながらしっかり伝えていきます。

「学校は、体力づくり、健康の保持について指導している」の質問について、今年度は水泳や全校で行う運動会が開催されたことで、「すごくそう思う」という意見が増えたと考えられます。一方、否定的な意見があるのは、実際の児童の体力が低下してきていることが関係していることが考えられます。新型コロナウイルス感染症の制限がまだまだあるため、以前のように活動ができないことが体力低下の要因だと推測されます。今後も感染防止対策はとりつつ、子どもたちの体力や運動能力が低下しないように、また健康の保持についても知識の定着、実践力が強化できるように指導していきたいと考えます。

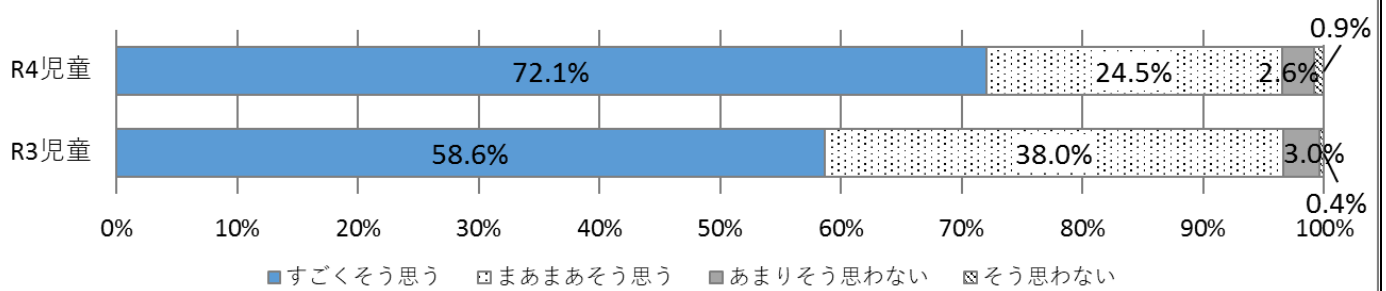
自分からすすんであいさつをしていますか。



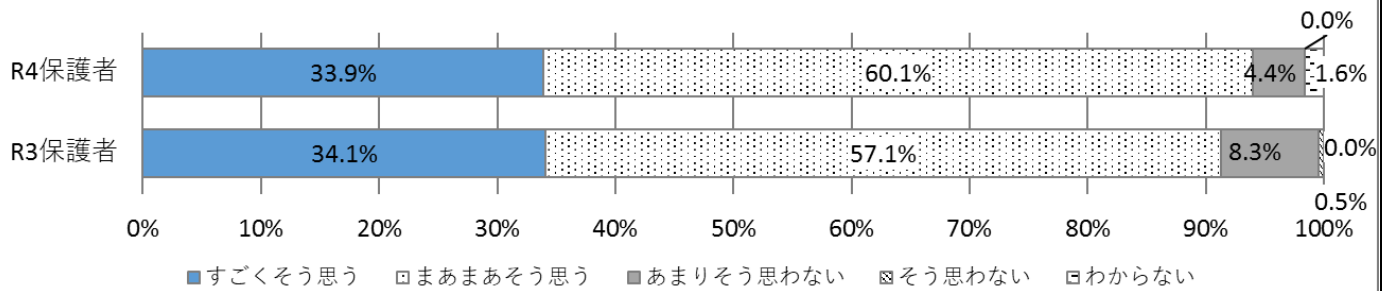
子どもは、自分から進んであいさつをしている。



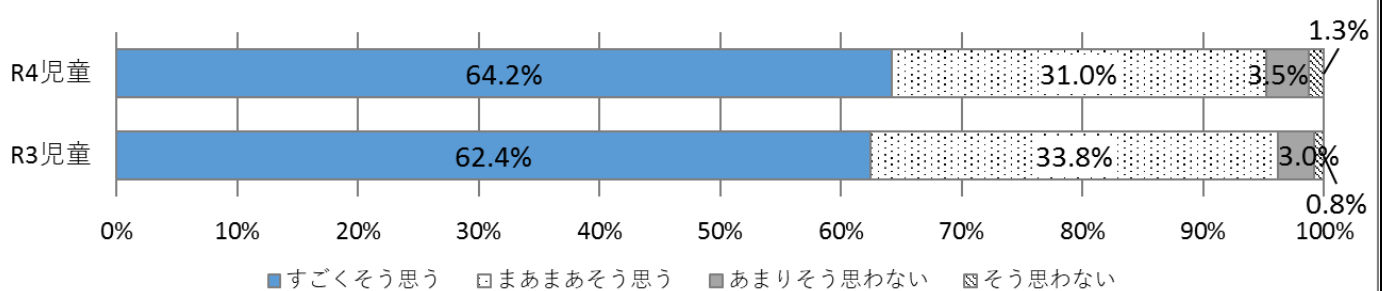
社会のルールが守られていますか。



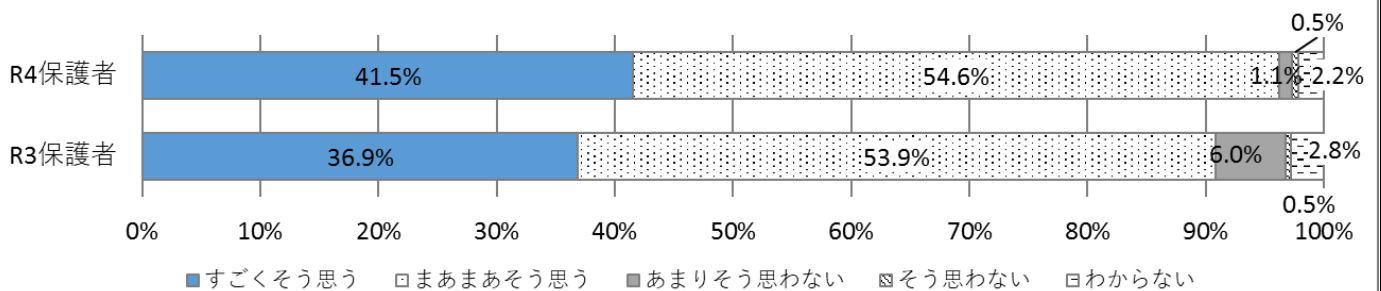
子どもは、社会のマナーやルールを守っている。



学校のそうじをがんばっていますか。



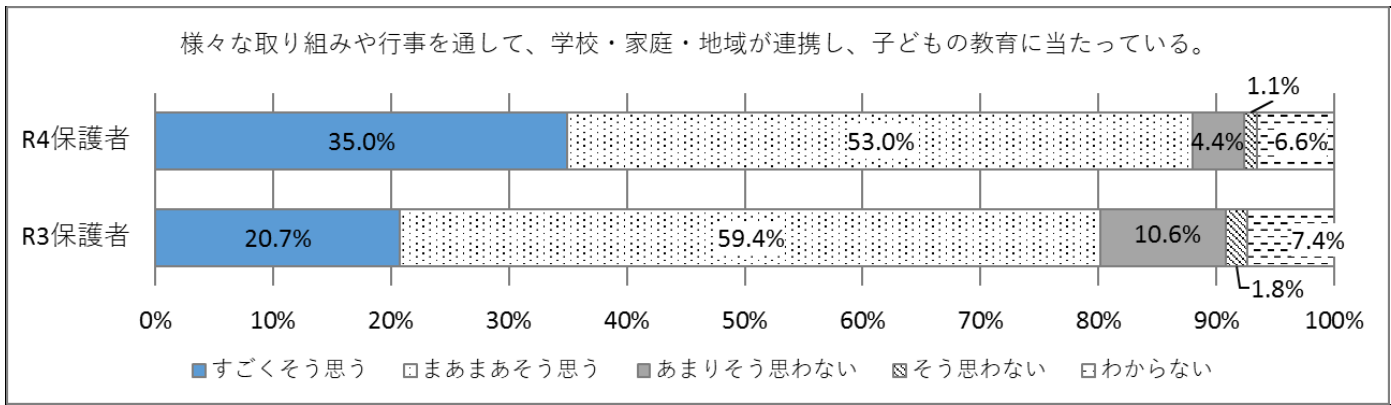
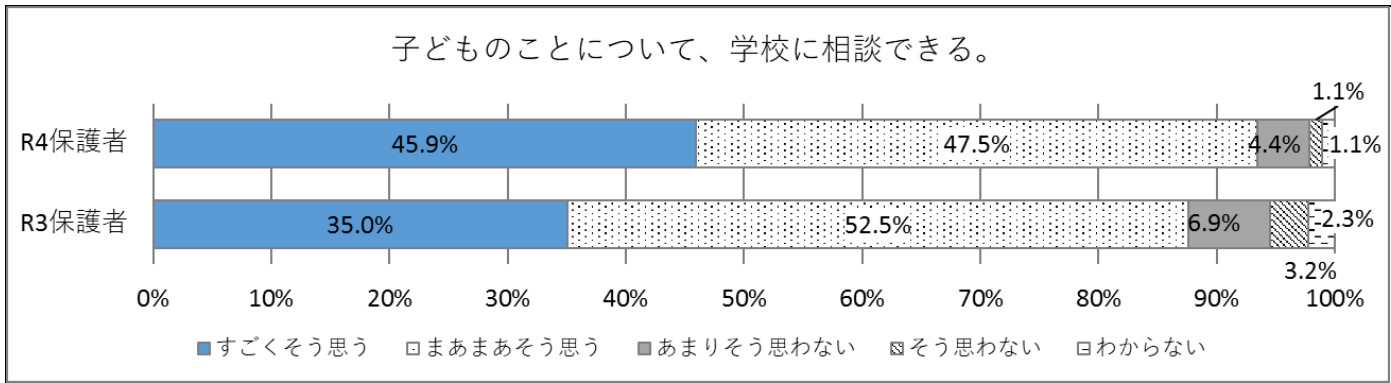
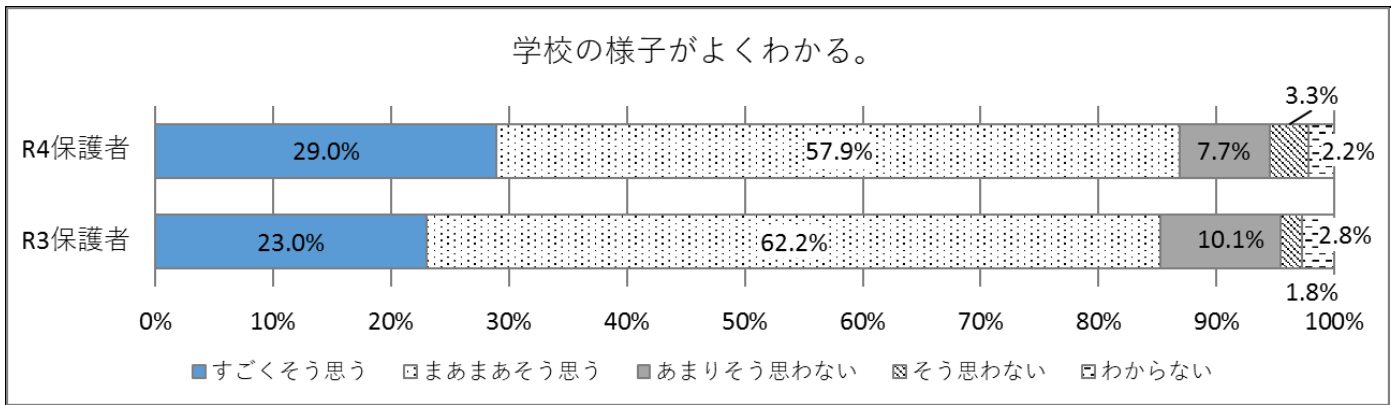
学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるように努めている。



児童に対するアンケートでは、いずれの項目においても「すごくそう思う」「まあまあそう思う」と回答をした人の割合が大半を占めており、昨年度と比べても良好な結果となりました。また、保護者の方へのアンケートでも、昨年度に比べて「すごくそう思う」「まあまあそう思う」の割合が概ね増加しています。特に、児童に対する「社会のルールが守れているか」という項目に関しては、「すごくそう思う」の割合が大きく増加しています。児童会を中心に学校でのルールを守ろうと呼び掛けたことや、学校と家庭とが連携して児童の生活を見守ってきた成果ではないかと考えられます。

しかし、あいさつの項目は、児童と保護者の回答に差があります。児童アンケートでは、肯定的な回答の割合がかなり増加していますが、保護者アンケートの方はそれほど変化はありません。児童はあいさつをしているつもりですが、声が小さかったり、相手を見ていなかったりして、相手に伝わっていない可能性があります。今後もあいさつに対する意識向上につなげられるよう、日々の指導、児童会の取り組みなどに力を入れていきます。

また、「学校のそうじをがんばっていますか。」「学校は、子どもが安全な学校生活を過ごせるように努めている。」という項目はどちらも肯定的な回答が大半を占めています。今後も引き続き、委員会などでろうかへの過ごし方や、そうじへの取り組みの呼びかけポスターなどの取り組みを行っていきます。



3つの質問に共通して、「すごくそう思う」「まあまあそう思う」の回答が85%以上を占めています。さらにその内訳を昨年度と比較すると、「すごくそう思う」の回答の割合がととも増加していることが分かります。その要因として、新型コロナウイルスによる行動制限が少しずつ緩和され、学校行事や地域の行事が少しずつ再開されていることが考えられます。特に運動会や音楽会は、保護者の方々に児童の日々の成長を感じてもらえる機会となったのではないのでしょうか。今後も感染防止対策を講じながら、より一層開かれた学校づくりができるよう努めていきます。

また、「子どものことについて、学校に相談できる。」の項目については、「すごくそう思う」「まあまあそう思う」という回答が95%近くを占めています。今後も引き続き、学級懇談会や個人懇談会などの機会をうまく活用し、学校と家庭とが連携して児童の成長を支えていけるよう取り組んでいきます。

しかし一方で、「学校の様子がよくわかる」の項目については、「そう思わない」という回答がわずかに増加しています。学校の教育活動の様子については、今後もホームページなどを通して発信を続けるとともに、学校行事についても、保護者の方々がより参加しやすいものとなるよう、工夫して取り組んでいきます。